

令和5年度施策評価シート (評価対象年度 令和4年度)

●基本情報

施策名	【5】地域福祉の充実	評価番号	2-2-5
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり	
	基本施策	【2】支え合う福祉の推進	
担当課(係)	保健福祉センター (いきがい支援係)	福祉課	(社会福祉係)
担当課(係)	福祉課 (介護予防係)		( )

●施策の方向 ~PLAN~

施策の方向	<p>○地域福祉を支える人や団体を支援し、福祉の充実を目指します。</p> <p>○地域福祉を支える活動を行うボランティア団体に対し、活動支援と育成支援の継続をします。</p>
-------	--

●令和4年度主な取組 ~DO①~

主な取組	①福祉を支える人材の育成					
取組内容	<p>高齢者がいつまでも健康で自立した生活を送ることができるよう、保健・医療・介護を含むサービスを提供し、地域住民が主体となって支えあう仕組みづくりと地域包括ケアシステムの構築の推進をします。</p> <p>高齢者の地域活動を促進するため、介護予防やいきがいづくり事業を実施しているボランティア組織を支援します。</p> <p>在宅福祉サービスセンター事業の委託（送迎サービス・家事援助サービス・保育サービス）</p>					
構成事業		事業名(取組名)	評価		事業名(取組名)	評価
	1	一般介護予防事業(ボランティア活動支援事業)	現状維持	4		
	2	在宅福祉サービスセンター事業	現状維持	5		
	3			6		
主な取組	②社会福祉関係団体の育成					
取組内容	<p>要支援認定者、総合事業対象者を含む65歳以上の高齢者が身近なところで気軽に通える集いの場の創出するための相談と費用の補助を行っています。高齢者の社会的な孤独の内相、心身の健康維持及び要介護状態の予防並びに地域での助け合い体制の構築を図っています。</p>					
構成事業		事業名(取組名)	評価		事業名(取組名)	評価
	1	一般介護予防事業(住民交流通いの場事業)	現状維持	4		
	2			5		
	3			6		

●事業費 ～DO②～

主な歳出の節		令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）
支出	1 報酬	450,061 円	558,454 円	566,723 円
	3 職員手当等	18,939 円	64,080 円	63,493 円
	4 共済費	47,213 円	103,630 円	105,587 円
	7 報償費	525,000 円	408,000 円	798,000 円
	11 役務費	20,266 円	31,480 円	31,252 円
	18 負担金、補助及び交付金	607,000 円	551,500 円	1,312,500 円
	その他	721,940 円	652,264 円	1,182,162 円
事業費 計		1,921,419 円	2,369,408 円	4,059,717 円
主な歳入の科目		令和2年度（実績）	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）
財源	国支出金	339,186 円	349,975 円	583,625 円
	県支出金	211,991 円	218,734 円	364,765 円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	669,892 円	691,200 円	1,152,659 円
	一般財源	1,169,350 円	1,109,499 円	1,958,668 円
事業費 計		2,390,419 円	2,369,408 円	4,059,717 円

●評価 ～CHECK～

進捗状況	<input type="radio"/> 順調	現状分析	<p>住民交流通いの場合は、休止や増加があり団体数の変動はあるものの、10団体となり地域に広がりを見せています。</p> <p>地域ボランティアが主体となって実施している介護予防活動は、概ね順調に行われています。フリフリ地区運動集会は3つの会場で月に6回実施、シルバーリハビリ体操教室は16の会場で実施しており、多くの住民が参加しています。また、ボランティアの養成講習会や研修会を実施し、継続的に活動支援をしています。</p> <p>日常生活において、援助が必要な方に対し、支援ボランティアで成り立つ「在宅福祉サービス」を社会福祉協議会に委託することで、地域に密着したサービス提供を行うことができました。</p>
	<input checked="" type="radio"/> 概ね順調		
	<input type="radio"/> やや遅れている		
	<input type="radio"/> 遅れている		

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	<p>地域における在宅福祉サービス、介護予防を支えるボランティア活動、高齢者が身近に通える場所の継続した充実を図るためには、活動を支える支援側のボランティアの確保がとても重要です。現在、ボランティアの高齢化などにより、ボランティアの減少が見られていることから、各事業の重要性や必要性をさらに周知すると共に養成講習会や研修会の実施により、引き続きボランティアの育成と確保に引き続き取り組んで参ります。</p>
--------	---